

評価会の概要

令和2年度委託事業先である「社会福祉法人桐友学園 サポートセンター沼南」及び「医療法人財団はるたか会 松戸市基幹相談支援センターCoCo」については、令和3年5月26日に評価会を実施し、同年8月6日の自立支援協議会において評価を確定いたしました。

今回の評価対象である「ふれあい相談室」、「ハートオン相談室(みらい、エール、えるあいサポート)」への委託事業については、市内相談支援体制の見直しに伴い令和2年度で完了してることから、障害福祉課にて別途評価会を実施しました。評価結果等から、現行の基幹相談支援センターの委託事業に活かせるものを見出していくとの視点を意識して行いました。

1. 自己評価

時期:10月

対象:ふれあい相談室、ハートオン相談室(3事業所)

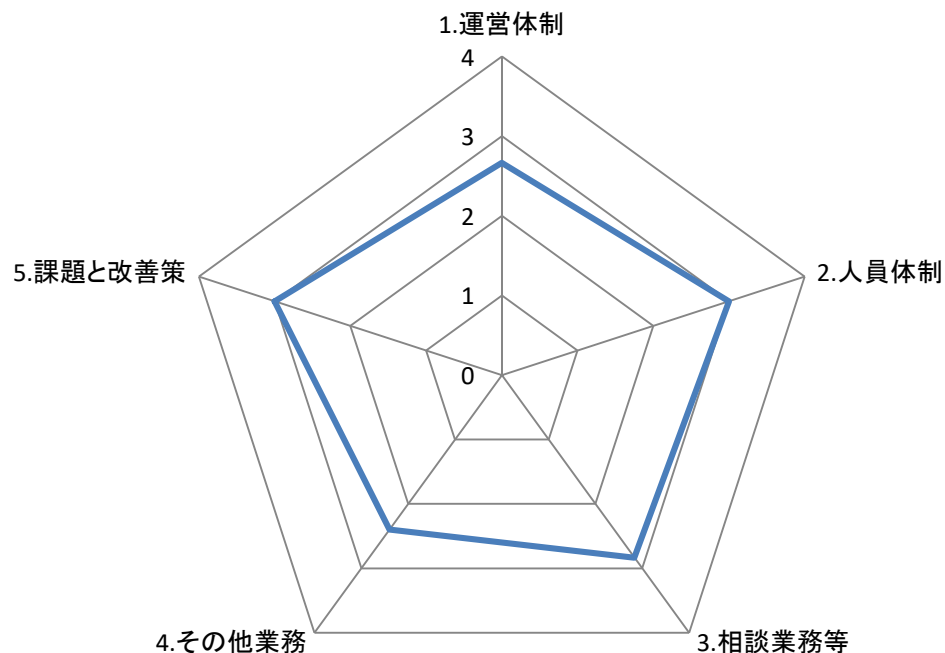
内容:評価項目ごとに4段階の自己評価を行うと共に、詳細を記載する。

2. 評価会

時期:11月25日(木)15:30～17:30

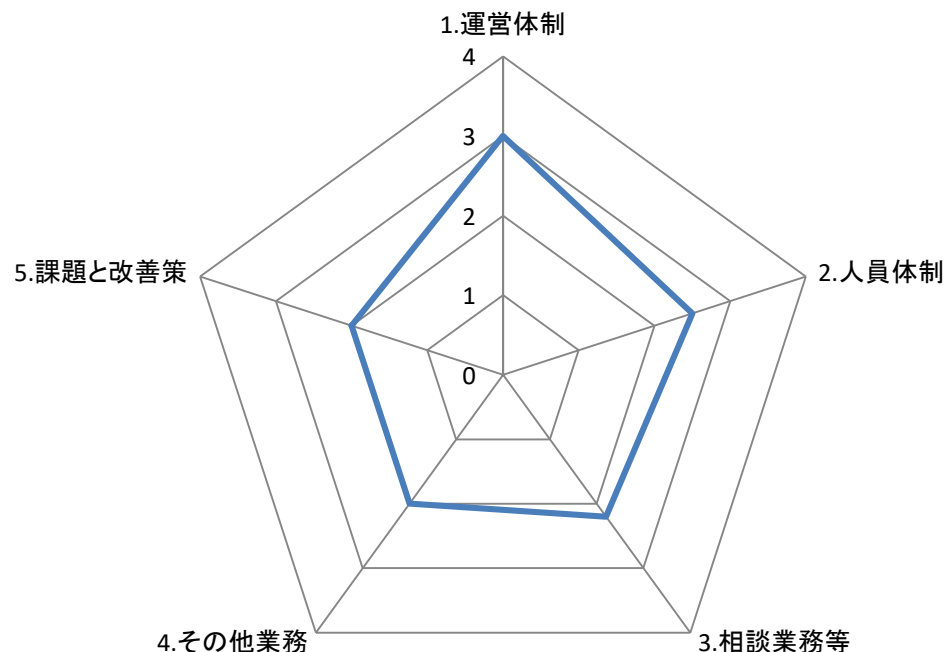
内容:障害福祉課(課長、支援班ケースワーカー2名)により書類審査を実施。

場所:松戸市役所 障害福祉課内



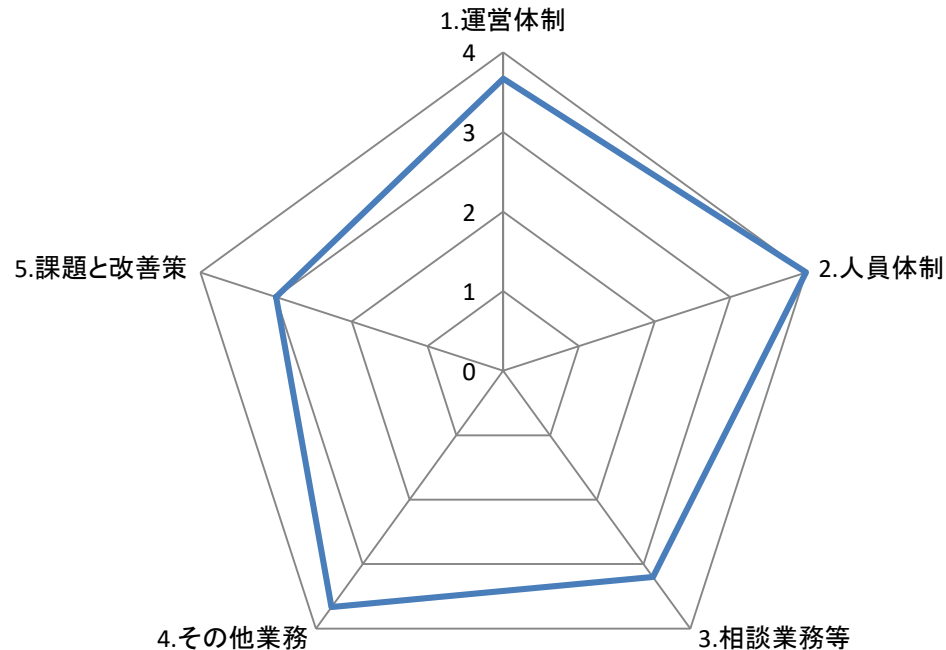
(3) ◎相談内容を把握・分析し、適当な対応を行ってるかについて、前年度から相談件数が大幅に増加する中で、「必要な環境調整をしてからサービスを整え、計画相談が入ったあとも関わる一体型支援」を行っている点を評価

(5) ◎運営上の課題・改善策について、コロナ禍における相談対応の改善策として、ITの活用の推進、研修の実施によるITのスキルアップに努めるとの点を評価

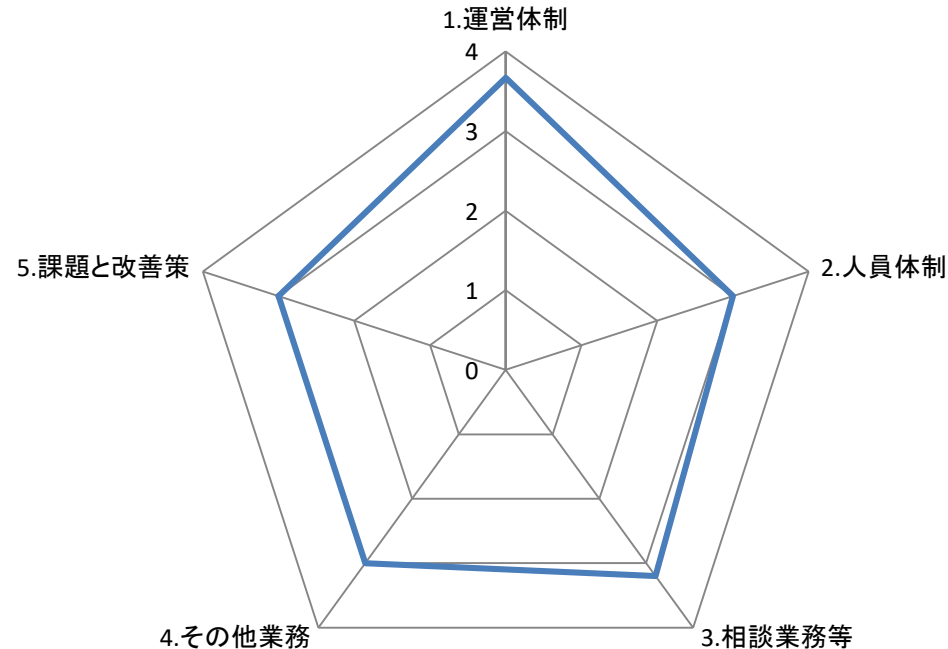


(2) ◎多様なニーズに対応するための職員の人材育成として、サポサポやスキルアップ研修に参加するとともに、月1回のテーマ別の研修(特定疾患、老障介護、地域医療との連携等)を行っている点を評価

(3) ◎相談事例の解決のための進捗管理・他分野との連携・必要な対応について、相談事例として、ADL全介助・精神疾患の対象者へ、退院カンファレンスへの参加によるサービス調整、生活環境の整備、家族へのレスパイト入院の促し等の支援を行った点を評価。



- (1) ◎個人情報保護の管理のために行っている具体的な方策として、鍵付き書庫を使用し、書類をシュレッダーで裁断する体制をとるとともに、セキュリティーサービスの導入をしている点を評価
- (3) ◎支援機関と連携して対応した相談事例について、保護観察・知的障害のある対象者への支援にあたり、生活保護、成年後見等の利用について、適宜会議を行い、関係機関との連携を図った点を評価



- (1) ◎利用者が利用しやすい相談体制の構築における、主担当職員が不在の場合でも対応できる体制として、毎朝のミーティングでの情報共有や新規相談の複数名対応、自傷他害の緊急性が高い事例について、複数名で対応している点を評価
- (3) ◎セルフプランの作成補助の対応方針や留意しているポイントとして、緊急を要する利用者において、セルフプランの作成を補助するとともに、必要な福祉サービスの調整、同行を適宜行い対応を図った点、その後計画相談を導入し、ともに書類を作成するなどのフォローアップを行っている点を評価